



Nagoya University, Graduate School of Letters

Center for Cultural Heritage and Texts

Open Symposium

June 29, 2014 Nagoya University, Japan

名古屋大学大学院文学研究科

「人類文化遺産テキスト学研究センター」公開シンポジウム

Balthus: Boundaries and Passages

バルテュスとその境界

PROGRAM

《午前の部》10:30-12:00

1 木俣元一 [名古屋大学大学院文学研究科教授]

バルテュスとキリスト教

2 栗田秀法 [名古屋大学大学院文学研究科教授]

バルテュスとプッサン

《午後の部》13:15-17:00

3 鈴木俊晴 [豊田市美術館学芸員]

バルテュスとクールベ

4 副田一穂 [愛知県美術館学芸員]

バルテュスとシュルレアリスム

5 吉田映子 [三重県立美術館学芸員]

バルテュスとボナール

6 坪井秀人 [国際日本文化研究センター教授]

バルテュスと少女文化

ディスカッション

本シンポジウムでは、バルテュスとその作品というきわめて捉えどころのない対象を、様々な視点に基づいて境界を措定しその境界で機能する微妙で複雑な関係性について考えることで立体的に浮かび上がらせていくことをめざす。報告者はいずれもバルテュスの専門的研究者ではないが少女文化、プッサン、シュルレアリスム、クールベ、ボナール、キリスト教といった各々が関心を持つテーマに立脚し、いわば外部から照らし出すことでこれまでになく新鮮なバルテュス像を提案していく。

2014年6月29日(日) 10:30-17:00

名古屋大学文学研究科 237講義室

(終了後にレセプションを予定しています)

《参加費無料・事前申し込み不要》

主催 ● 名古屋大学大学院文学研究科 附属「人類文化遺産テキスト学研究センター」

後援 ● 日仏美術学会 お問い合わせ ● 木俣元一 電子メール imago@lit.nagoya-u.ac.jp



【交通案内】地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車 ①番出口